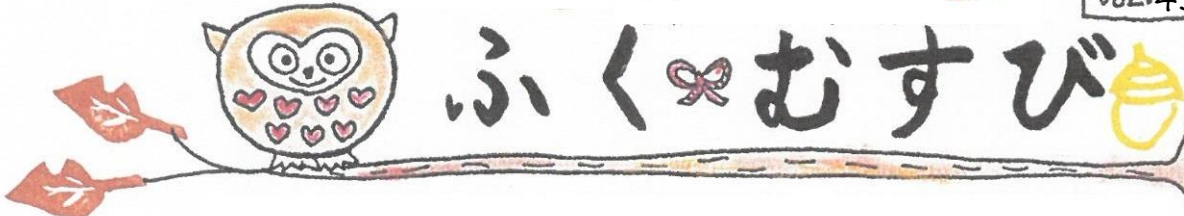


マスコットキャラクター

『ふくまる』

2021年
9月号

地域とあなたと私を結ぶ定期便



発行元:公益財団法人復康会 社会復帰事業部

〒410-0811 沼津市中瀬町17番11号 TEL 055-931-0510 FAX 055-934-1697

—事業部紹介第6弾—

今回は・・・なかせのピアスタッフ、石川さんと山崎さんに話を伺いました！

Q1 ピアスタッフの仕事とは？

病院では病棟の患者さんにお話を伺う中で、気持ちに寄り添い、退院の希望があれば地域移行支援につなげています。地域では、ケースに同行したり、地域活動支援センターの活動に参加しています。研修では講師を行い、ピアサポート連絡会の記事作成も行っています。

Q3 ピアスタッフとして働いているのやりがいを感じた瞬間やうれしかったことは？

石川さん：地域移行支援で、自分がかかわっていた患者さんが退院したことで、何度も本人のもとへ行き退院できたときに「ありがとう」と言われた時はうれしかった。

山崎さん：ピアスタッフとしてかかわっていた方が地域で生活できたこと。またその支援の中で、自分の体験を生かした時はとてもうれしかった。

Q4 これから取り組みたいことや、今後の目標は？

石川さん：コロナ禍で活動が自粛されている中ではあるが、病気や障害のことをいろんな人に知ってほしい。また、皆さんに障害のことをマイナスではなく、プラスととらえて笑って話せるようにしたい。

山崎さん：ピアの活動を広げていくことと、ピアスタッフが長く働けるよう環境を整えていきたい。

2人は当事者としての視点で相手の気持ちを汲んで話を聞いて下さり、訪問先では場が和み話しやすくなる。支援を一緒に考える中で、自分も相談員としての役割を見直すきっかけになりました。
(なかせ山下 PSW)



石川さん・山崎さん・山下さんご協力ありがとうございました。

(取材担当：まごころ)



ゆめワーク

8月10日に料理教室を開催しました。日頃はコロナウイルスの影響で黙食をしているため食事がやや寂しく感じますが、月に1回メンバーの皆さんでメニューを考え、協力して作り気分転換を図っています。

8月は三色丼を作り、おいしく出来ました！一から考えるのは大変ですが、協力し合いながら楽しく取り組んでいます。
(室山 美希)



しずおか特産品のテーマパーク
しずハレ

静岡県の美味いもの、美しいもの、面白いもの、面白いものを一堂に集めたオンラインショップ。ここでしか買えないものや、静岡ならではのものを直接生産者から購入できます。
<https://shop.shizupare.jp>

しずおか・エール
マルシェ

静岡県内の認定事業者の産品をご紹介する特設サイトです。各事業者のオンラインショップではおすすめ商品を販売！サイト運営スタッフによる商品レビューも更新予定！
<https://www.fukusanpin.com>

ワークショップ まごころ

8月よりクオーレでジェラートのオンライン販売を開始しました。これは「福産品（授産品）オンライン販売促進事業」として県の支援を受けて行っています。9/15まで30%OFF+送料無料のキャンペーンを開催中で、既に多くのお客さんから注文を頂いています。

コロナの感染拡大の不安の中、多くの方にクオーレの味を知ってもらうことを励みに、皆で頑張っています！
(上柳 光)



かのん

6月20日からかのんに新しい職員が入りました。『松下茜』さんです。花のんでのお弁当作りや、やすらぎでの接客等をメンバーさんと一緒に行っています。明るく優しい人柄が更にかのんを賑やかにしてくれそうです！！

(本田 幸江)



趣味：カラオケ

最近ではキンプリの平野君が
お気に入りです♡

《 本人より一言 》

中学・高校と運動部に所属していました。今は当時のように体は動きませんが、気持ちは全力で頑張っていきたいと思います。よろしくお願ひします。



お肉・ウインナー・
トウモロコシ・
焼きそば等々



コーポ狩野

7月14日に「暑気払い」のレクリエーションを行いました。コロナの影響で外食を控えて頂いているメンバーさん達に、個々に鉄板焼きを楽しんでもらいました。野菜のカットやおにぎり・焼きそば作りなど皆さん頑張っていました。「大変だったけど、とても楽しかった」との感想があり、我慢が続く中で少しは発散できたのではないかと思います。食欲旺盛な様子に、この状況を乗り切れると確信したのです。(町田 比佐美)



なかせ



精神科病院に入院中の方に対して退院に向けた支援を行う障害福祉サービスのひとつである「地域移行支援」。他の就労継続支援などのサービスと同じように個別給付の位置づけでありながら、件数としてはこれまであまり活用されてこなかった数字の背景には様々な課題があります。そのような状況の中、意図せず突入したコロナ禍。不要不急の外出を控えるよう緊急事態宣言が出され、精神科病院からの退院支援における不要不急とは何か、日々考えさせられる機会は同支援に携わる中で常に横たわっています。サービスの利用は当然のことながら利用される方を中心に検討されるべきではありますが、私たちにも様々な気づきを与えてくれることは経験年数に関わらず貴重な時間となります。

(鈴木 伸二)



ひまり



毎週、三島市の相談支援事業所が集まり行っていた連携会議も、コロナ感染拡大のため、初めて ZOOM での開催となりました。直接会うことは出来なくても、情報共有や意見交換など行うことができました。これからも様々な形で関係機関とつながり、今できることを精一杯頑張っていきたいと思えます。また、利用者さんから「コロナが怖くて外に出られない」などコロナに対する不安の声が聞かれます。訪問時には、ワクチン接種の予約を一緒に行ったり接種状況を確認しながら、利用者さんが安全に安心して生活を送れるよう支援していきたいです。

(伊藤 田恵子)



いとう

最近、センターの利用者さんからワクチンの予防接種の話題を耳にします。センターには以前から予約をどうすればいいのかわからない、ワクチンを打った時のリスクから予防接種を受けるか迷っているという相談もありました。既にワクチンを打っている利用者さんに副反応があったかどうか尋ねている方もいて、これまでにない事態に戸惑われている印象を受けました。私たちも同じように不安はありますが、コロナウイルスをきっかけに今一度健康について考える機会となっています。

(伊藤 悠美子)



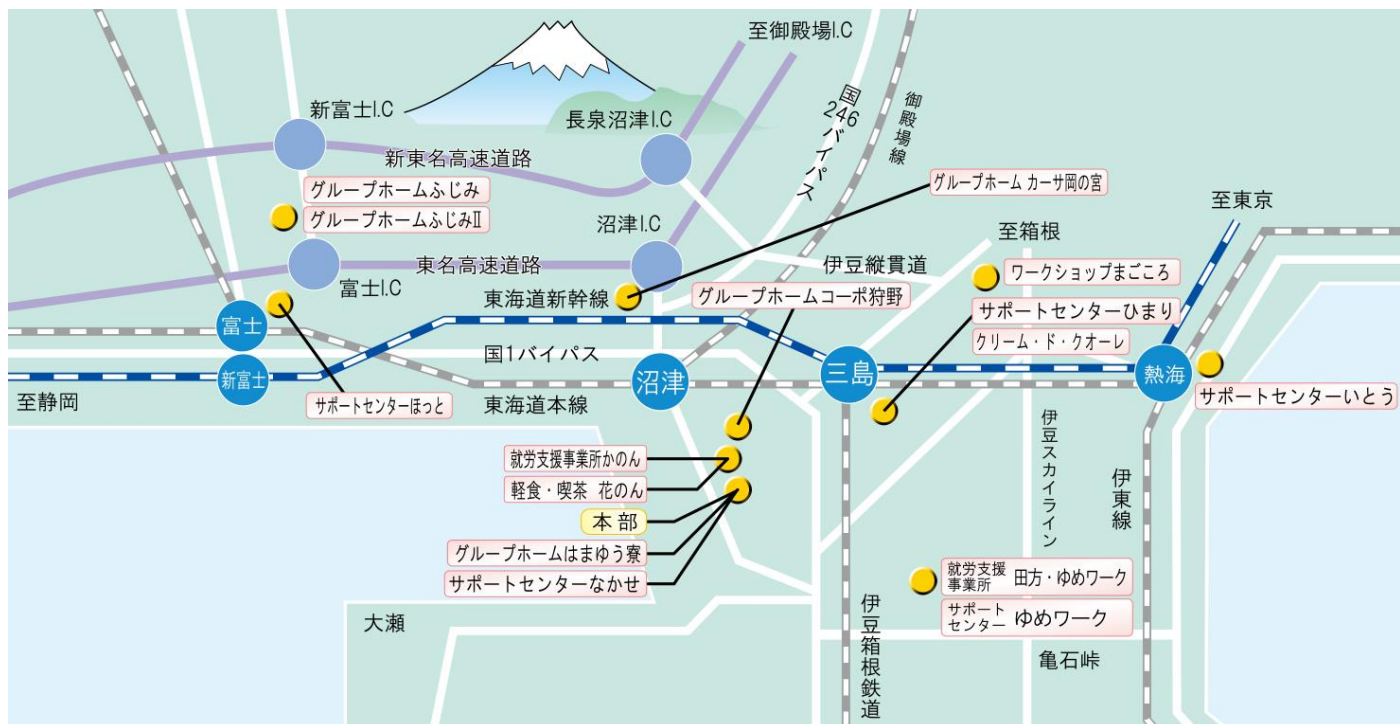
ほっと



就労継続支援 B 型事業所よりお声掛けいただき、研修講師をやらせていただく機会がありました。いただいたテーマが『支援とはなにか』と壮大なもので、私に務まるのかとヒヤヒヤしましたが、私たちが生業とすることの根幹について、同じ地域で働く方と一緒に考える良い機会となりました。今後もこのような交流が続き、結果として地域の福祉力の向上につながるとういなど感じました。

(新田 怜小)

社会復帰事業部施設MAP



サポートセンターなかせ 沼津市中瀬町17-11 TEL055-935-5680

サポートセンターいとう 熱海市田原本町9-1 熱海第一ビル2F TEL0557-82-5680

サポートセンターゆめワーク 伊豆の国市田京1259番地の294 TEL0558-75-5600

サポートセンターほと 富士市日乃出町165-1 サンミック静岡ビル104 TEL0545-32-8160

サポートセンターひまり 三島市一番町7-19 高野ビル4F TEL055-991-1180

グループホームカーサ岡の宮 沼津市岡宮612番1号 TEL055-935-5680
(サポートセンターなかせ)

グループホームはまゆう寮 沼津市中瀬町17-11 TEL055-935-5680
(サポートセンターなかせ)

グループホームふじみ・ふじみⅡ 富士市厚原1138-6 ムーンビームス TEL0545-32-8160
(サポートセンターほと)

グループホームコーポ狩野 沼津市中瀬町24番1号 TEL055-933-1038

就労支援事業所かのん 沼津市中瀬町19-20 TEL055-933-8500
(軽食・喫茶花のん) 沼津市中瀬町18-28 TEL055-933-8502

ワークショップまごころ 三島市字エビノ木4745-456 TEL055-985-2666
(クリーム・ド・クオーレ/作業所) 三島市一番町7-19高野ビル1F/2F TEL055-976-9000

就労支援事業所田方・ゆめワーク 伊豆の国市田京1259番地の294 TEL0558-75-5600

編集後記

静岡県も緊急事態宣言が出され、いつ誰がコロナに感染しても不思議ではない状況です。ワクチン接種しても手放して安心は出来ないでまだまだ予防対策は必要ですが、皆さん協力し合って活動の幅を広げようと努力していただいているみたいですね。